

慶應義塾大学教職課程センター公開研究会

短歌が学校をつくる

講師：千葉 聡 氏（横浜サイエンスフロンティア高校教諭）

日時：2026年10月29日（木）18:10-19:40 申込不要・参加無料

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス独立館 D311 教室（右下地図④）

司会：藤本和久（教職課程センター教授）

〇〇であり、教師でもある一、〇〇がマラソン選手であったり、オペラ歌手だったり、油彩画家だったり書家だったりする。歌人であり国語科教諭でもある千葉聡先生。「どちらが本職なんですか」という質問を千葉先生に向けるのはあまりに野暮であることは、御著書（たとえば『飛び跳ねる教室』（2010）、『グラウンドを駆けるモーツァルト』（2021）、『飛び跳ねる教室・リターンズ』（2024）など）を読めば明らかだ。ある教育雑誌のインタビューに千葉先生は「作家に固執して一人で執筆していた昔の自分より、生徒と一緒に学んでいる今の自分のほうが文学的にも確実に豊かです」（『月刊教員養成セミナー2023年12月号』）と述懐されている通り、この2つの軸はいまや渾然としたものになっている。しかし、この境地や実感に至るまでの千葉先生の経緯は、教師着任の時を含め必ずしも平坦だったわけではない。中等教育の教師の多くが経験する苦しさ直面したとき、「短歌」と「生徒」がどう千葉先生を支え拓いてくれることになったのか、具体的なエピソードを紹介していただきながら、教職を目指す人のみならず、文学を志したい人や広く学校教育を考えた人とともにじっくり味わう時間になればと願っている。

問い合わせ先：慶應義塾大学教職課程センター 03-5427-1618



〈講師紹介〉 千葉聡【チバサトシ】 先生

1968年、神奈川県生まれ。第41回短歌研究新人賞を受賞。
現在、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校に勤務。國學院
大學等の兼任講師。陸上競技部顧問。2026年NHK短歌に出演。

